

<p>SSKS J A P C ニュース</p>	<p>編集人 特定非営利活動法人 日本失語症協議会 (旧全国失語症友の会連合会) 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-14-5-405 Tel.03-5335-9756 Fax. 03-5335-9757 1冊 400円 ゆうちょ口座番号 00180-7-174216</p>
<p>2021年 1月発行 第52号</p>	
<p>特定非営利活動法人日本失語症協議会機関誌 『言葉の海』 新聞版 協議会ホームページ URL : http://japc.info/</p>	 <p>発行人 特定非営利活動法人 障害者定期刊物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 Tel03-6277-9611 ax03-6277-9555</p>

特定非営利活動法人日本失語症協議会
事務局長 進藤 美也子

ください。
養成や派遣の様子も情報交換しながら各地で失語症のある方の社会参加を推進していきましょう。

新年あけましておめでとうございます。昨年も、協議会会員の皆様、支援者の皆様には、多大なるご支援を頂戴いたしました。ありがとうございます。紙面をお借りして、御礼申し上げます。本年も特定非営利活動法人日本失語症協議会をよろしく願います。

さて、2020年は、想像もしていなかったコロナの脅威が全世界を襲いました。今もそのまっただ中です。全国大会を始め、各地で友の会の開催ができずに心細い思いを皆さんされていると思います。各地の友の会ニュースも「秋になりやっと数ヶ月ぶりに会を再開できた」と知らせてくれるところが出てきていますが、まだまだ予断は、許されない状況です。

年に5回の発行のこのニュースで、失語症のある仲間が全国にいることが感じられ、ささやかでも励みや支えとなるよう皆さんの様子を伝えていく所存です。

また、少しずつですが失語症者向け意思疎通支援者養成や派遣が各地に広がっています。私も住んでいる自治体で派遣制度が確立されるよう働きかけています。その中で、当事者が困っていることを言葉にして伝えられない特性の理解が少しずつ進んでいます。失語症のある方をよく知っている周りの方から、ぜひ各地の役所に困り感を伝えて失語症者向け意思疎通支援者の派遣を希望してく

＜各地の議会で上がる失語症への質問＞

※東京都江東区議会

・11月本会議代表質問で正保幹雄議員が、「江東区における失語症への理解促進と、失語症意思疎通支援者の派遣について」の見解を求めました。又、仁瓶文隆議員が「区内における失語症の実態と意思疎通支援派遣の取り組みについて」質問しました。

予算審議特別委員会では、吉田要議員がコロナ禍での失語症者支援に触れています。失語症の当事者が困り感を伝えられない現状を踏まえ「声なき声に対してどのような具体的支援をしていくのか」を質問しました。

※東京都中野区議会

・12月本会議で、檜山隆議員（立憲民主党）が、「失語症者の人権保障、地域リハビリテーションの現状、意思疎通支援者、等々につき取り組みが必要であり、区の認識と今後の対策について」答弁を求めました。

身近な議員さんに失語症の現状を知ってもらい議会で発言してもらいましょう！！

事務所に多くの年賀状を頂戴いたしましたこと、深く御礼申し上げます。数年前より経費節減対策としまして、協議会としての年賀ご挨拶状を新年号の紙面でのご挨拶とさせていただきます。どうぞご容赦ください。

理事長：園田尚美(月～金)

事務局ボランティア：

進藤美也子、藤原みどり

志村孝子、木村高子、亀澤大介



シーズニーズWEB交流会講演

「失語症のある方の困りごと、

あったらいいな、こんなもの！」

失語症のある人の支援とは

失語症の言語症状

失語症者の困っていること

失語症者のあったらいいな！こんな機器

失語症のある人が当たり前の日常を取り戻すためには

- 現代の情報社会にあって、人と人とのコミュニケーションのほとんどすべての部分で障害のある失語症。単に、言葉（語）を失っただけではない、さらに、その障害を克服するためには、個人個人の症状に適した方法が必要となっています。
- 約50万人もいると推察されている失語症のある方々の日常を取り戻すために、一人一人の症状に適応する機器の開発は、失語症のある方々が失った人生の時間を取り戻す支援になります。

日常生活を過ごすうえで解決できるとよいこと（1）

- 家族や友人が話をしていることを正しく理解する。一緒に笑えるようになる（家族団らんの輪に入りたい。友人との会話を楽しみたい）
- 一人で出かける事
- テレビや劇場でお笑いや落語を楽しむ事（映画の字幕のようなものがある事）
- スマートフォンを使いこなす事。
- SNSを活用したい事
- メールをする事、手紙やFAXを利用できる事
- 銀行（ATM）や郵便局等の利用する事

日常生活を過ごすうえで解決できるとよいこと（2）

- スーパーのセルフレジや交通機関のタッチパネルの操作方法がわかりやすくなること → 聞くことも困難
- 診察の際や薬局で医師など医療スタッフの言っていることがわからない（一人で診察に行っても、痛みや辛さが伝わらない、検査の指示がわからない、呼び出しがわからない、など）
- お金の計算（特に小銭等お釣りを計算すること）
- 買い物（買い物のリストがあっても、正しいものを買うか、表示の理解）
Ex)「ほうれん草」とメモをしても 正しくほうれん草を買っているか
- 料理（レシピの理解を含む）
- 留守番（電話の対応、荷物の受け取り、訪問者への対応等）

日常生活の中で解決できるとよいこと（3）

- 会や会議などの議論や話題が理解できるようになるとよい
- 書いてある文章が、理解できるとよい
（新聞や映画の字幕、本を読んだり、友達の手紙を読みたい）
- 書いてある数字が、理解できるとよい（運賃や、商品の価格等）
- 子供の連絡帳、プリントの理解、宿題を見てあげること
- 子供の父母会や学校の面談に行っても、担任の言っていることが理解できず質問もできない。
（こどもの進学等、将来がとても気がかり）友達もできない（いわゆるママ友）
- 言葉がすんなり出てくれるといい。
- 何か起こった時に周囲に助けを求めること
- SM、SBカフェには行けないけど、DTカフェは行きやすい。（前者は手元にメニューがなかったり、カタカナ表記が多かったりする）

コロナ禍で、益々困難が増えたこと

- 店員の数が減ったことや接客時間の縮小で、タッチパネルや、メモ用紙に書くなどの注文形式が増えて、全ての行動に制限が出てきた
→ 中には（特に若い方）タッチパネルのほうが操作しやすく、注文しやすくなったという方も
- 人との対話が減ることで、関係が希薄になり、親身になって言葉を理解してくれる機会が減った
→ 一人に尋ねることがしにくい世の中に
→ マスク越しの対話で、相手の声が聞き取りづらい、表情が読み取りづらい、感情が伝わらづらい
→ リモートでのやり取りが多くなり、（使い方がわかって）伝わりづらい

就学時等に解決できるとよいこと

- 友達と楽しく過ごすことができること（周囲の失語症への理解）
- サークルや部活動への参加
- 教科書や板書の内容を理解すること
- ディベートの授業を理解する事、他者の意見を理解し自分も発言する事
- テストを受ける際（受験時）の困難（問題を理解する、読み、書き等）
- 先生の口頭指示や、大勢の人の中で話を聞くこと
- ノートテイクを確実にする、あるいは補助するものがある事
- 通学の際、緊急発生時に何が起きているのか理解すること、またそれにかかわる対応（駅員に尋ねるなど）
- 各種資格取得に関わる資格試験の受験の際の失語症者へ配慮

就労時に解決できるとよいこと

- 失語症への理解
- 電話に出る→メモを取る
→ 適切に対応する（自分で対応する、他につなぐ等）
- 通勤の際、緊急発生時に何が起きているのか理解すること、またそれにかかわる対応（駅員に尋ねるなど）
- 会議中、発言者がわかり、会議の内容が理解できること
- 仕事の手順の理解ができること
- 口頭での指示の理解ができること
- 臨機応変に対応すること
- 書類の内容を理解できるもの

あったらいいな！と思うもの

- 電車、バス車内の字幕の理解できるもの
- 機器（失語症のことを理解し機器の操作方法を教えてくれる人、物、機器の操作方法がわからないときにすぐに助けてくれる人がいることが前提
- 話をしていることを要約して文字で示してくれる（テレビも同様）
例）洋画の字幕のようなもの UDcastの失語症者版
- 話の内容を正しく理解できているか確認できるもの
- 書いたことや伝えたことが正しいか判断してくれる（内容を含め）
例）「うどん」と伝えたいのに「そば」と言ってしまっていないかどうか確認できるもの
- 電話（相手が話をしていること）の内容が要約して表示されるもの
- メモを取ってくれるもの
- 物の名前を教えてくれるアプリ（Google LENS?）
- 会話のスピードを調節してくれる、または要点を要約して伝えてくれる

失語症のある方の困難解決のための
コミュニケーション支援機器開発で
失語症のある方が
それらを自ら使用することで、
社会参加の手助けになる事が望まれます。

書籍の御案内

お待たせしました。再印刷をしました

失語生活便利手帳(SOSカード付き)

2016年2月発行

外出先等で困った時この手帳を意思伝達に使用します。

体調や困っていること、お願いしたいことなどがイラストと文字で表示されていますので、失語症者が指さして相手に伝えることができます。

どうぞご利用ください。

600円

希望の方は、

メール office@japc.info

T E L 03-5335-9756

F A X 03-5335-9757

日本失語症協議会事務局まで どうぞ!!!



言語聴覚士(ST)による失語症・高次脳機能障害のリハビリをご自宅 言語オンラインリハビリ

- ☑ 脳卒中特化型で10万回以上の施術実績『脳梗塞リハビリセンター』の言語聴覚士によるリハビリ
- ☑ 全国のご自宅から…お手持ちのタブレット・PCで実施可能 設定サポートばっちりで簡単接続
- ☑ ご家族も一緒に、日常生活でのサポート方法やトレーニング方法を学べる

1コマ60分
通常8000円/回

➡ **体験無料**

+ **2回分無料チケット
プレゼント**

3回コースまたは10回コースお申込みの方に

※機関誌読者 限定特典:「機関誌を見た」とお伝えください



脳梗塞リハビリセンターYouTubeで、
説明動画配信中!

🎁 当事者・女優

河合美智子さんの
言語オンラインリハビリの様子もご覧いただけます



オンライン
言語リハビリ
ご相談・
お申込み

☎ **0120-251-108**

受付時間/月~土 9:00~18:00



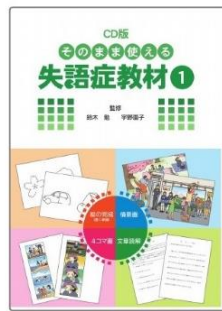
申込フォーム

24時間受付中

CD版 そのまま使える失語症教材1

監修:鈴木 勉 宇野園子

教材制作スタッフ:約30名の言語聴覚士 CD-ROM (PDF A4判 1116頁) **6,000円+税**



印刷すればすぐに訓練に使うことができ、
また失語症の方の自習にも役立ちます!

およそ30名のSTが力を合わせて、4種類の教材を収めたCDを制作しました。内容は、絵の完成(書く準備)・情景画・4コマ画・文章読解です。パソコン・プリンターを使って、何度でも繰り返し印刷してお使いいただけます。

※本教材を使うには、Adobe Acrobat Reader DC (無料でダウンロード可能)等が必要です。



絵の完成(トレース課題 30頁・絵の完成課題 200頁・検索&印刷用アプリ) 情景画(基本画 10頁・番号付情景画 10頁・単語リスト 10頁) 4コマ画(系列画 25頁・漫画 25頁) 文章読解(問題 650頁・解答例 130頁)

シリーズ第二弾発売決定! 詳細は決まり次第ホームページに掲載いたします。

構文教材 基本文編

著:藤田郁代

音声ペン対応

絵カード(B7サイズ)208枚/保管用ケース付 **7,000円+税**

失語症の方のための言語訓練帳

著:山本弘子 編:NPO法人日本失語症協議会 A4判 32頁 **800円+税**

沼尾ひろ子

脳梗塞により失語症となるが放送業界に復帰!
自身の経験をもとに執筆した書籍をご紹介します



失語症になった私から医療の現場で働くみなさんへ38のメッセージ

A5判 198頁 **2,000円+税**

医療の現場で働く方へ!

失語症患者との具体的なコミュニケーション方法を紹介しています。



音でわかってすぐに使える 失語症ことばの手帳

手帳+音声ペン **11,200円+税**

手帳のみ **2,800円+税**

音声ペン対応 ◆手帳:A5判(バインダー綴じ)86頁

いつでもどこでもトレーニングでき、いざというときには音声ペンがあなたの代わりに言葉を伝えます。

よくわかる失語症ことばの攻略本

●音読編 音声ペン対応 B5判 92頁 **1,300円+税**

●ことば体操編 オールカラーイラスト B5判 98頁 **1,500円+税**

音声ペン (ActVoicePen)

アクトボイスペン

自作用シール100枚(シール:13mm×13mm)/ACアダプター付 **9,000円+税**

言語訓練や意思表示のサポートなどにお使いいただけます。

デモ機貸出サービス実施中です。詳細はホームページをご覧ください。

アクトボイスペン自作用シール(大) 音声ペン対応

シール80枚(シール:20mm×20mm) **1,000円+税**

従来の自作用シールの約1.5倍の大きさ! よりタッチしやすくなりました。

株式会社 エスコアール

<https://escor.co.jp>
〒292-0825 千葉県木更津市畑沢 2-36-3

TEL 0438-30-3090 FAX 0438-30-3091
●内容、デザイン等は予告なく変更になることがあります。

携帯用会話補助装置&言語訓練器 「言語くん」

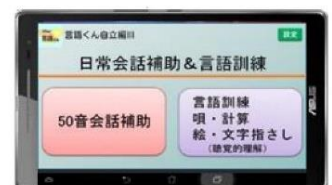
ご利用者の **70%** が「よくなっている」と感じています



ST訓練を終了した在宅の失語症者が使える言語訓練器

- ◆(株)エスコアールの絵カード2001より、単語・短文を搭載。
- ◆軽度の患者様までお使い頂ける会話補助装置&言語訓練器!!
- ◆機能:50音会話補助・理解訓練・発話訓練・唄機能・計算機能
- ◆画面も10インチと大きくなりました!

身体障害者手帳または音声言語の認定をお持ちの方は、
定価115,500円(自立編Ⅲ)が、各市町村の給付により
「1~2割程度のご負担」で、ご購入頂けます。



※各市町村や納税額によっても自己負担額が異なりますので、お住まいの障がい福祉課へご確認ください。

《・・・まずは、10日間の無料お試しから・・・》

★理解・発話自主トレキット(基本編)★自立編Ⅲ(応用編)からお選びください。

株式会社 シマダ製作所 〒379-0204 群馬県富岡市妙義町行沢 264-1 ☎ : 0120-73-8133